

事務事業実績測定調書

R4調書番号 027

事務事業名称	準用河川等維持管理事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	土木部			課	工事委託課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち									
	施策目標	1.災害に対する備えができています									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	社会資本整備重点計画				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	準用河川沿線に住む住民すべて			
	サブターゲット	準用河川沿線で事業を行う事業者すべて			
	ターゲットが抱える課題	河川が保全されていないと、大雨時に河川氾濫や、流水機能が妨げられることにより被害が発生する。また、避難の妨げになるため、不安が募る			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	防災力が向上し、被害の発生、避難経路の確保ができる、安心、安全につながる。				
事業概要	準用河川を主として、維持管理のために除草および清掃作業を行うとともに、補修工事等を行うもの 【主な事業内容】 ・準用河川等の除草委託 ・準用河川等の清掃委託 ・準用河川の補修工事 ・急傾斜等の除草委託 ・一般河川の維持管理(分任分) ・その他直営による保全活動				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
						準用河川等が適切に維持管理できている。				準用河川等の各種保全活動を行う。			
指標設定	指標説明					各種保全活動に係る当初予算額に対する決算額の割合。 【算出式:決算額/当初予算額×100】				「準用河川」の除草・清掃にかかる委託・工事の実施回数			
	指標種類					減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標			
	指標数値					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					100以内	100以内	100以内	100以内	2	2	2	2
	実績					53	59	77.50		3	5	3	
達成度									50%				

3. 人員体制

(人)

	R4実績
正職員	0.48
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	20,729	8,347	3,750		
	会計年度任用職員	255	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	20,984	8,347	3,750		
	物件費計	36,810	23,191	27,763	34,001	81.7%
	歳出計	57,794	31,538	31,513		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	10,600	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	10,600	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	26,210	23,191	27,763	34,001	

5. 総括的分析

総括的分析	R4年度は、委託として八田川他除草委託、車谷川他清掃委託、護岸補修工事2件を実施した。本事業は、各種委託契約において契約差金が発生したこと、施設の損傷に伴う修繕も少なかったため、R4年度の予算執行率は77.5%にとどまっている。
-------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、準用河川の機能確保のため、年間除草委託及び緊急時の工事対応等ができるように進めていく。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 028

事務事業名称	舗装長寿命計画事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	土木部			課	工事委託課		
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち									
	施策目標	1.災害に対する備えができているまち									
	実行計画名	1-2.防災対策の推進									

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2018(H30)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	幹線道路を利用する市民すべて。			
	サブターゲット	幹線道路を利用する事業者すべて。			
	ターゲットが抱える課題	事後保全型の補修では、予想外の財政負担が発生することになり、市民負担の増加、補修作業の遅滞につながる。			
	ターゲットが抱える課題	道路を通行する利用者が円滑かつ安全に通行できないと人の交流及び物流が滞る。			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	ライフサイクルを見据えた管理が確立されることにより、市民負担が軽減、平準化されると共に、道路を安全・安心に通行できることで、人の交流や、物流が円滑に進んでいる。				
事業概要	道路の大規模修繕、改築までのライフサイクルを延長し、コストの平準化を図るため、平成30年度に策定した舗装長寿命化修繕計画に基づき、5年毎に路面性状調査を実施し、舗装の損傷状況に応じた工法により予防保全型の修繕を行う。 【対象路線】:都市計画道路、主要道路リフレッシュ整備事業路線 【修繕予定 延長】:L=37,004m(都市計画道路:9,049m、主要道路リフレッシュ整備事業路線:27,955m)				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
			「舗装長寿命化計画」通りに舗装補修を行うことにより、市民負担が軽減、平準化されると共に、道路を安全・安心に通行できることで、人の交流や、物流が円滑に進んでいる。				「舗装長寿命化計画」に基づき、舗装補修を行う。				
指標設定	指標説明		計画予定延長のうち、補修延長の割合 【算出式:補修延長/計画予定延長×100】				舗装補修を実施した年間補修延長距離				
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値										
	目標 (見込み)										
	実績										
達成度						112%					

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.24
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	6,380	3,771	1,875		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	6,380	3,771	1,875		
	物件費計	94,559	35,863	65,265	68,000	96.0%
	歳出計	100,939	39,634	67,140		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	84,900	32,200	58,700	61,200	
	その他	0	0	0	0	
		歳入計（物件費に充当される特定財源）	84,900	32,200	58,700	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	9,659	3,663	6,565	6,800	

5. 総括的分析

総括的分析	<p>損傷による事故の未然防止を図る予防保全型の計画である舗装長寿命化計画に基づき、計画的に修繕工事を実施している。R4年度は、枚方公園前線他2路線(施工延長1118.7m)の工事を実施し、令和5年度に工事を予定している実施設計を行い、事業全体としては計画どおり進捗している。</p> <p>舗装長寿命化修繕計画を策定することで、ライフサイクルコストの逓減や予算の平準化を図ることが見込まれるが、定常的な財政負担は継続していく。</p>
-------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	舗装長寿命化修繕計画に基づき今後も修繕工事を実施していく。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 041

事務事業名称	道路施設等維持管理事業(工事委託)										
測定年度	2022(R4)年度			部	土木部			課	工事委託課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち									
	施策目標	1.災害に対する備えができています									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	社会資本整備重点計画				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	市道施設を利用する市民すべて。			
	サブターゲット	市道施設を利用する事業者すべて			
	ターゲットが抱える課題	道路を通行する利用者が円滑かつ安全に交通できないと人の交流及び物流が滞る。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	道路を安全・安心に交通できることで、人の交流や、物流が円滑に進んでいる。				
事業概要	パトロール・道路利用者からの補修依頼による補修箇所や自治会等からの要望による補修箇所の把握及び工事 街路樹等の除草清掃委託作業市内の駅前(枚方市駅前、枚方公園・御殿山・牧野・楠葉・津田・長尾)駅前広場等の清掃を委託事業 約3,200基ある道路照明の維持修繕業務 市駅前・新町地区・岡本町・牧野駅前東口に設置のエレベーター及び長尾駅に設置のエレベーター・エスカレーター施設の法定点検や監視業務等				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル			道路施設が適切に維持管理できている。				パトロールや道路利用者等からの要望により、補修箇所を把握し、補修及び改良をする。			
指標設定	指標説明		要望に対する対応率 【算出式:対応完了数/受付伝票×100】				要望件数 【要望件数は、管理道路の増加や、大規模修繕等の影響により変動があるため、毎年度見直しを行			
	指標種類		増加することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標			
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)		-	-	100	100	-	-	500	500
	実績		-	64	49		-	658	463	
達成度		49%				107%				
ロジックモデル②		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル②			LED化により、街路灯の電気代が上がらない。				街路灯のLED化を行う。			
指標設定②	指標説明		街路灯の電気代が上がる。				LEDに交換した基数			
	指標種類		減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)		100	100	100	100	5	5	5	5
	実績		93.70	99	109.90		0	5	5	
達成度		90%				100%				

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	5.51
再任用	0.08
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.26
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	-	37,159	43,447		
	会計年度任用職員	-	0	229		
	特別職非常勤	-	0	0		
	附属機関委員	-	0	0		
	人件費計	-	37,159	43,676		
	物件費計	-	490,834	524,489	504,985	103.9%
	歳出計	-	527,993	568,165		
歳入	国庫支出金	-	11,466	8,400	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	-	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	-	416,310	473,604	470,513	
	市債	-	0	0	0	
	その他	-	2,022	2,709	2,046	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	-	429,798	484,713	472,559	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	-	61,036	39,776	32,426	

5. 総括的分析

総括的分析	R4年度は、市民・自治会等からの通報、要望等の対応を225件、請負工事・単価契約修繕の道路補修工事を89件実施するとともに、約3,200基ある道路照明の維持修繕、約700箇所ある街路樹等の剪定や除草等の維持管理を行った。 維持管理、修繕等に要する経費は年々増加傾向にあり、限られた予算の中で優先順位を立てて予算執行している。また、道路・橋梁施設の保全や除草などの維持管理に係る委託や小規模修繕のほか、市民の安全に直結する道路の陥没や穴ぼこなどの緊急対応、災害時の対応を行っている。街路灯の電気代達成度については電気料金の高騰により90%にとどまっている。
-------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	市民が安全で安心して利用できるよう、道路施設の維持管理を適切に行っていく。

事務事業名称	官民連携公園施設管理運営事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	土木部			課	工事委託課		
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち									
	施策目標	24.まちなかのみどりを育てるまち									
	実行計画名	24-1.公園施設の整備と維持管理									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的的事业	区分	一般事務事業
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	都市公園法、地方自治法				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	公園において、スポーツを楽しみたい市民、花や緑に触れ合いたい市民、読書などでくつろぎたい市民			
	サブターゲット	公園のパブリックスペースを活用してイベント催事などを開催したい市民団体、事業者			
	ターゲットが抱える課題	身近でスポーツを楽しんだり、花や緑に触れ合ったり、読書などでくつろげたりできる、市民相互の交流の場が少ない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	公園の持つ機能を活かし、市民や事業者、行政が協働で公園を活用することで新たな魅力化を図り、市民相互の交流の場が創造される。				
事業概要	<p>民間事業者に公園施設の指定管理運営を委託することで、市民(団体)の利用手続きについて簡素化を図ると共に、魅力的で集客効果のあるイベントを開催させることで、利用頻度・満足度を向上させる。なお、施設の指定管理の方法については、公園の施設種別、目指す利用状況等に合わせて委託する。</p> <p>【指定管理の種類】 都市公園有料施設(王仁公園、中の池公園、香里ヶ丘中央公園の運動施設) 鏡伝池緑地(市民の森) 香里ヶ丘図書館・香里ヶ丘中央公園みどりの広場(令和2年度指定管理開始) ※香里ヶ丘中央公園の有料化可能な施設(駐車場含む)については、平成30年度から再整備を実施中</p>				

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル		新たなスポーツの機会を創出するとともに市民相互の交流の場が創造され、市民満足度が上がる。				スポーツ教室、イベント等を実施することで、市民相互の交流の場が創造される				運動広場などの公園有料施設にて、各種スポーツ教室、イベント等を実施。			
指標設定	指標説明	利用者アンケートによる満足度 【算出式:満足と回答した人数/アンケートに回答した人数×100】				各年度における運動広場などの公園有料施設(プール除く)における教室、イベント参加者数				各年度における運動広場などの公園有料施設(プール除く)における教室、イベント開催数			
		単位		%		単位		人		単位		回	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	達成度	70	75	75	75	3,700	3,800	3,800	3,800	100	110	110	110
	実績	69	61	57	461	2,160	3,504			25	108	128	
達成度	76%				92%				116%				
ロジックモデル②		新たなスポーツの機会を創出するとともに市民相互の交流の場が創造され、市民満足度が上がる。				イベントを実施することで、市民相互の交流の場が創造される。				鏡伝池緑地(市民の森)にて、各種イベントを実施。			
指標設定②	指標説明	利用者アンケートによる満足度 【算出式:満足と回答した人数/アンケートに回答した人数×100】				各年度における鏡伝池緑地(市民の森)における入園者数				各年度における鏡伝池緑地(市民の森)における講習会、展示会の開催数			
		単位		%		単位		人		単位		回	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	達成度	70	75	75	75	49,000	50,000	50,000	50,000	30	32	32	32
	実績	69	61	57	64,762	61,867	59,850			12	35	41	
達成度	76%				120%				128%				

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル③		新たなスポーツの機会を創出するとともに市民相互の交流の場が創造され、市民満足度が上がる。				イベントを実施することで、市民相互の交流の場が創造される。				香里ヶ丘中央公園みどりの広場にて、各種イベントを実施。			
指標設定 ③	指標説明	利用者アンケートによる満足度 【算出式:満足と回答した人数/アンケートに回答した人数×100】				各年度における香里ヶ丘中央公園みどりの広場におけるイベント参加者数				各年度における香里ヶ丘中央公園みどりの広場におけるイベント開催数			
		単位		%		単位		人		単位		回	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	70	75	75	75	240	260	280	280	12	13	14	14
	実績	69	61	57		89	145	223		7	10	12	
	達成度	76%				80%				86%			

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.40
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額 (千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	23,657	15,835	3,125		
	会計年度任用職員	336	96	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	23,993	15,931	3,125		
	物件費計	94,397	91,357	84,850	86,843	97.7%
歳出計		118,390	107,288	87,975		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料、手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
歳入計(物件費に充当される特定財源)		0	0	0	0	
一般財源(物件費に充当されるもの)		94,397	91,357	84,850	86,843	

5. 総括的分析

総括的分析	R4年度は、withコロナへの転換期となる年であった。社会情勢は日々変化したものの、公園施設利用に際しては、新型コロナウイルス感染症対策を施しつつ、イベントの開催数や参加者数も着実に増加した。また、東部公園についてもR5年度からの指定管理者制度の運営に向け事業者選定を行った。今後更に、外で利用できる公園の需要は高まってきており、指定管理者制度を効果的に活用し、魅力ある公園施設の提供に努め、多様化・高度化する市民ニーズに対応していく。
-------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

6. 今後の方向性

区分	拡充
今後の取り組み方針	5公園全体を一括運営によるスケールメリットを活かした指定管理者制度のもとソフト事業の充実を図り、公園の活性化・利活用について検討する。 また、王仁公園においてはP-PFI事業を進め、フットサル等の利用者ニーズに応えるとともに、指定管理者との相乗効果による公園全体の活性化を促進させる。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 592

事務事業名称	星ヶ丘公園整備事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	土木部			課	工事委託課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち									
	施策目標	24.まちなかのみどりを育てるまち									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2010(H22)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	星ヶ丘公園近隣に住む住民すべて。			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	市街地に市民の憩いの場所や自然林が少ない			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	市民の憩いの場所を提供すると共に、市街地に残された自然林を保全していくことで、人の交流や、子供達の交流が円滑に進む。				
事業概要	都市計画公園である星ヶ丘公園を整備していく。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)	
		市民の憩いの場所を提供すると共に、市街地に残された自然林を保全していくことで、人の交流や、子供達の交流が円滑に進む。	取得した用地について、適切な整備を行う。	用地取得を行う。
指標設定	指標説明	公園整備地域住民一人あたり公園面積の増加	整備面積	用地取得面積
	指標種類	単位 m ²	単位 m ²	単位 m ²
	指標数値	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標
	目標 (見込み)	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5
	実績	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0
達成度				

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.00
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	14,196	12,257	0		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	14,196	12,257	0		
物件費計	0	0	0	0		
歳出計	14,196	12,257	0			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）	0	0	0	0		

5. 総括的分析

総括的分析	星ヶ丘公園の整備については、平成22年度から公園南側の自然林部分の用地取得を開始し、平成24年度に第1工区を、平成27年度は第2工区の整備を行い、散策路を一部開放した。平成29年度は用地取得を行った。また、平成30年度及び令和元年度に第3工区の整備を行い、散策路及び管理用通路を全面開放した。本事業は、財政状況等の関係から未買収用地の取得に課題があるため、現時点では事業を実施できる状況にない。
-------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

6. 今後の方向性

区分	休止
今後の取り組み方針	財政状況等の関係から未買収用地の取得に課題があるため、事業を休止する。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 599

事務事業名称	都市計画公園車谷公園改修事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	土木部			課	工事委託課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち									
	施策目標	24.まちなかのみどりを育てるまち									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2019(R1)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	車谷公園の近隣に住む住民すべて。			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	車谷公園が大阪府施工の都市計画道路内里高野道線の道路用地にかかることから、公園面積が減少する。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	平成27年度に都市計画変更を行った区域において公園整備を行い、道路事業によって失われたまちなかのみどりや憩いの場を創出し、近隣住民に提供する。				
事業概要	当事業は、都市計画変更を行った区域の用地取得を行い、公園として整備するものです。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
						計画どおりに整備が進む。				取得した用地において、公園整備を行う。			
指標設定	指標説明					整備計画の進捗率 【算出式:公園整備面積/公園整備計画面積×100】				公園整備面積			
		単位				単位				単位			
	指標種類					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					0	0	100	-	0	0	417	-
実績					0	0	0		0	0	0		
達成度	0%				0%				0%				

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.00
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	14,196	12,257	0		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	14,196	12,257	0		
物件費計	0	0	0	0		
歳出計	14,196	12,257	0			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）	0	0	0	0		

5. 総括的分析

総括的分析	本事業は、大阪府事業「都市計画道路内里高野道線」整備において、車谷公園の一部敷地が道路用地となることから、都市計画変更を行い公園の改修を行うものであるが、現時点で用地取得方法がなく、当該用地地権者より土地売買の申し入れ意向があった場合、他の都市計画公園との優先順位等を勘案し検討していく必要がある。
-------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	当該用地地権者より土地売買の申し入れ意向があった場合、他の都市計画公園との優先順位等を勘案し検討していく。

事務事業実績測定調査

R4調書番号 600

事務事業名称	王仁公園施設再編計画策定・推進事務											
測定年度	2022(R4)年度			部	土木部			課	工事委託課			
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2	○	R3		R4			R5	
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち										
	施策目標	24.まちなかのみどりを育てるまち										
	実行計画名	24-1.公園施設の整備と維持管理										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2020(R2)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	スポーツや健康増進の場に加えて、イベントやまちづくり事業などによって魅力アップした公園利用の機会を得たい市民			
	サブターゲット	多様な主体の連携によって公園を利活用したい市民団体、事業者等			
	ターゲットが抱える課題	気軽にスポーツや健康増進ができる公園がない。 魅力ある施設やイベントを行っている公園が少ない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	民間の創意工夫を取り入れた整備、管理により、公園の魅力やサービスの向上が図れる。加えて、老朽化し質の低下した施設の更新が進むことで公園の利便性、安全性が高まり、ターゲットのニーズを満足できる公園となる。				
事業概要	<p>王仁公園は市の東部に位置する総合公園で、公園内には屋外プール、運動広場、テニスコート等のスポーツ施設をはじめ芝生広場やピオトープなどがある。本公園は昭和46年の開設から50年近くが経過するため、施設の老朽化や公園利活用の増進が課題となっている。</p> <p>王仁公園を多くの市民に安全に安心して快適に利用し続けていただくためには、現在、導入している指定管理者制度などの公民連携を更に発展させ、民間事業者のノウハウやアイデアを積極的に取り入れながら、市民ニーズの変化に対応できる公園機能の導入や拡充を図るとともに、公園の維持管理の質を高めることなどにより公園の再生を進めていく必要があり、王仁公園を市民にとって魅力のある、利用したいと思える公園とするための指針として、王仁公園の再整備と管理・運営の基本方針を策定を行う。</p>				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		市民のニーズを満足できる王仁公園となっている。				民間活力を活用し、多様な主体の連携によって公園が魅力アップし、公園利用者数が増える。				パークマネジメントの考え方を取り入れ、民間活力の活用を含めた整備を行う。			
指標設定	指標説明	市民の王仁公園に対する満足度 ※R4目標からR5目標の指標数値の減少は、施設再編のため。 【算出式:利用者アンケートで満足と回答した数/利用者アンケート回答数×100】				公園有料施設・便益施設等の利用者数 ※R4目標からR5目標の指標数値の減少は、施設再編のため。				・PPP/PFI手法により民間事業者が設置する飲食店等の施設の誘致数			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
		単位		%		単位		人		単位		件	
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		70	75	75	75	90,000	90,000	90,000	20,000	0	0	0	0
	69	61	57		30,000	40,000	44,000		0	0	0		
	達成度				76%				49%				

ロジックモデル②		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		市民のニーズを満足できる王仁公園となっている。				王仁公園施設再編計画策定について、円滑に進める。				王仁公園施設再編計画の策定事務に取り組む。			
指標設定 ②	指標説明	市民の王仁公園に対する満足度 ※R4目標からR5目標の指標数値の減少は、施設再編のため。 【算出式:利用者アンケートで満足と回答した数/利用者アンケート回答数×100】				王仁公園施設再編計画策定進捗率				計画策定に係る庁内委員会等の開催回数			
		単位 %				単位 %				単位 回			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	70	75	75	75	-	100	-	-	-	3	-	-
	実績	69	61	57	-	100	-	-	-	4	-	-	
	達成度	76%				-				-			

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.90
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	5.00

4. 決算額 (千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	40,274	35,042	7,031		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	95		
	人件費計	40,274	35,042	7,126		
	物件費計	6,325	23,887	39	98	39.8%
	歳出計	46,599	58,929	7,165		
歳入	国庫支出金	0	10,000	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	受益者負担(使用料、手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計(物件費に充当される特定財源)	0	10,000	0	0	
	一般財源(物件費に充当されるもの)	6,325	13,887	39	98	

5. 総括的分析

総括的分析	パークマネジメントの考え方を取り入れながら、民間活力を活用し、より良い市民サービスの提供と維持管理の効率化を図るため、気軽にスポーツや余暇を楽しめる魅力あふれる公園のあり方を示した基本方針をR3年度に策定した。 R4年度は、本方針に基づき指定管理制度の対象を公園全体に拡大し、P-PFIによる新たな公園施設も誘致進め、各事業者を選定した。今後も引き続き、社会情勢の変化を踏まえた公園の再整備・活性化を目指す。
-------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

6. 今後の方向性

区分	拡充
今後の取り組み方針	民間の創意工夫を取り入れた整備、管理により、公園の魅力やサービス向上につながり、市民ニーズを満足できる公園となるよう努めていく。

事務事業名称	新名神高速道路事業に係る公園・緑地整備事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	土木部			課	工事委託課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち									
	施策目標	24.まちなかのみどりを育てるまち									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性		区分	
事業期間	R4年度(2022年度)		年度	~	R6年度(2024年度)
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	~
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	公園利用が想定される地域住民 (牧野・樟葉西・樟葉南小学校区コミュニティ協議会)			
	サブターゲット	NEXCO西日本(株) (新名神高速道路事業)			
	ターゲットが抱える課題	新名神高速道路事業による地域の憩いの場や子供の遊び場の減少			
	ターゲットが抱える課題	新名神高速道路事業における買収地の残地及び表面管理			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	南船橋及び船橋本町地区で公園・緑地を整備を行うことで憩いの場や遊びの場として地域に還元する。				
事業概要	<p>新名神高速道路事業における残地及びトンネル区間の土地利用されない用地において公園整備し、身近な子どもの遊び場として、また、市民の憩いの場としてみどりとふれあえる空間を創出する。整備にあたっては、NEXCO西日本(株)の助成金を活用するとともに、市民と協働でみどりを創る観点から住民意見も活かしながら、NEXCO西日本(株)及び大阪府と協議し進めていく。</p> <p>[整備地区及び整備面積]</p> <p>①南船橋地区 整備面積 4,200㎡</p> <p>?船橋本町地区 整備面積 4,000㎡</p>				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	市民に身近な憩いやみどりに接する場や子供の遊び場が増加する。				アウトプット (活動結果)	公園・緑地整備による新名神高速道路事業に係る残地の有効活用を行う。				インプット (活動)	NEXCO西日本(株)と整備財源に関する協議を行う。			
	指標説明	市民1人当たりの公園面積				公園・緑地整備面積				整備に係る市費負担軽減額(助成金額)					
指標設定	単位	㎡				単位	㎡				単位	千円			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標					
	目標 (見込み)	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	実績	-	-	0		-	-	0		-	-	0			
達成度	0%								200%						

3. 人員体制

(人)

	R4実績
正職員	0.75
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	-	-	5,859		
	会計年度任用職員	-	-	0		
	特別職非常勤	-	-	0		
	附属機関委員	-	-	0		
	人件費計	-	-	5,859		
	物件費計	-	-	6,188	10,000	61.9%
歳出計		-	-	12,047		
歳入	国庫支出金	-	-	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人員配置については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	-	-	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	-	-	0	0	
	市債	-	-	0	0	
	その他	-	-	6,188	10,000	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	-	-	6,188	10,000	
一般財源（物件費に充当されるもの）		-	-	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	本公園整備にあたっては、NEXCO西日本㈱の助成金を活用するとともに、市民と協働でみどりを創る観点から住民意見も活かしながら、NEXCO西日本㈱及び大阪府と協議を進めていく。R4年度については、NEXCO西日本㈱の工事進捗により公園整備の着手にはいたらなかったが、3者間で協議を行い連携を図った。
-------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	NEXCO西日本㈱の工事進捗に合わせ協議を行い、公園整備を行っていく。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 603

事務事業名称	都市公園等維持管理事業(工事委託)										
測定年度	2022(R4)年度			部	土木部			課	工事委託課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち									
	施策目標	24.まちなかのみどりを育てるまち									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2004(H16)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	都市公園法、枚方市都市公園条例				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	公園利用者すべて。			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	公園利用者が円滑かつ安全に利用できないと人の交流及び子供達の交流が滞る。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	公園を安全・安心に利用できることで、人の交流や、子供達の交流が円滑に進む。				
事業概要	公園緑地等725箇所、樹木管理全般及び除草や施設の補修改良工事の実施、施設遊具の点検及び塗装や修繕等の維持管理を行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
						都市公園が適切に維持管理できている。				都市公園の施設保全や保守点検等を行う。			
指標設定	指標説明					各種保全活動に係る当初予算額に対する決算額の割合。 【算出式:決算額/当初予算額×100】				都市公園の各種保守点検等実施回数 【春期剪定3件/夏期剪定6件/冬期剪定6件/草刈9件/害虫防除3件/緑地管理4件/駅前花壇他6件/施設点検7件/排水管他清掃1件/巡回警備4件/遊具塗装4件】			
	指標種類					減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					100以内	100以内	100以内	100以内	53	53	53	53
	実績					99.10	93	99.12		43	51	54	
達成度									102%				

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	6.55
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.18
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	-	12,807	51,169		
	会計年度任用職員	-	172	159		
	特別職非常勤	-	0	0		
	附属機関委員	-	0	0		
	人件費計	-	12,979	51,328		
	物件費計	-	455,858	705,880	728,673	96.9%
	歳出計	-	465,436	757,208		
歳入	国庫支出金	-	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	-	231	231	231	
	受益者負担（使用料、手数料）	-	5,625	5,648	5,688	
	市債	-	0	0	0	
	その他	-	2,605	2,892	3,717	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	-	8,461	8,771	9,636	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	-	443,996	697,109	719,037	

5. 総括的分析

総括的分析	<p>公園や緑地の樹木管理及び除草や施設の補修改良工事の実施、施設遊具の塗装や点検及び修繕等を実施している。R4年度は、恒常的な維持管理業務のほか、日常点検や市民・自治会等からの通報、要望163件に基づき遊具の修繕等を行うなど、公園緑地等725箇所の維持管理を行った。</p> <p>公園や緑地等の維持管理、修繕等に要する経費は年々増加傾向にあり、限られた予算の中で優先順位を立てて予算を執行している。</p>
-------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、都市公園等の維持管理を適正に実施していく。

事務事業名称	公園施設長寿命化計画に基づく改築等事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	土木部			課	工事委託課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり								
	施策目標		31.持続可能な行財政運営を進めます								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2014(H26)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	公園近隣に住む住民すべて。			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	事後保全型の補修では、予想外の財政負担が発生することになり、市民負担の増加、補修作業の遅滞につながる。			
	ターゲットが抱える課題	公園利用者が円滑かつ安全に利用できないと人の交流及び子供達の交流が滞る。			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	ライフサイクルコストが確立されることにより、市民負担が軽減、平準化されると共に、公園を安全・安心に利用できることで、人の交流や、子供達の交流が円滑に進む。				
事業概要	<p>安全性の確保及びライフサイクルコストの削減を目的に、予防保全の観点で定めた「公園施設長寿命化計画」に基づき、計画的に公園施設の更新・改築等を行う。</p> <p>【対象公園】 都市公園:84か所(2000㎡以上の都市公園及びトイレ設置7公園)</p> <p>【計画期間】 平成25年～令和5年(10か年) ※予防保全 完全に壊れてから更新するのではなく、損傷状況を事前に予測し、保全処理を行うことで、施設のライフサイクルを延長させる維持方法。(対義語:事後保全)</p> <p><拡充> 令和5年度で現在の計画期間(平成25年～令和5年[10か年])が終了するため、次期計画(令和6年～令和15年[10か年])の策定を行う。 計画策定にあたり、令和4年度に調査委託を行い、その結果を踏まえ令和5年度に計画委託を行う。</p> <p>【対象公園】 都市公園:105か所(500㎡以上の、2000㎡未満の都市公園等(小規模、ちびっこ広場、緑地を除く))</p> <p>【計画期間】 令和6年～令和15年(10か年)</p>				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)	計画どおり公園施設の更新・改築等が完了することで、ライフサイクルコストを削減し、安全性の確保を図る。				インプット (活動)	「公園施設長寿命化計画」に基づき、公園施設の更新・改築等を実施する。						
	指標説明					「公園施設長寿命化計画」の実施達成率 【算出式:公園施設の更新・改築件数(累計)÷計画対象公園施設数×100】					公園施設の更新・改築件数							
指標設定	指標種類					増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標											
	指標数値					単位	%				単位				件			
	目標 (見込み)					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5					
	実績					70	80	90	100	18	20	15	12					
達成度					117%				147%									

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.37
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	9,730	11,393	2,890		
	会計年度任用職員	1,258	379	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	10,988	11,772	2,890		
	物件費計	76,456	4,882	58,274	65,000	89.7%
	歳出計	87,444	16,654	61,164		
歳入	国庫支出金	24,500	1,500	20,000	20,000	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	45,700	1,500	15,000	42,000	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	70,200	1,500	35,000	62,000	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	6,256	3,382	23,274	3,000	

5. 総括的分析

総括的分析	公園施設の老朽化が進行する中で、安全性の確保とライフサイクルコストの縮減を図るため、H25年度に策定した公園施設長寿命化計画に基づき、国庫補助金の活用を図りながら計画的に公園の改築・改良工事を進めている。R4年度は、中の池公園他11公園における遊具等施設の工事を行った。また現計画が令和5年度までであることから次期更新計画策定に向け、公園施設長寿命化予備調査業務委託を行った。
-------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	今後も公園施設長寿命化計画に基づき計画的に順次更新工事を進めていく。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 948

事務事業名称	工事委託課運営事務										
測定年度	2022(R4)年度			部	土木部			課	工事委託課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		9.施策体系外								
	施策目標		99.施策体系外								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	課職員			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	課の運営を円滑に図る必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	課の運営が円滑な状態にある。				
事業概要	<p>工事委託課の事務事業が効率的に執行されるよう課内の連絡調整を図る。また、庶務事務や道路補修及び公園に関する市民等の要望対応を行う。</p> <p>①連絡調整事務 予算・決算、各種照会・回答等について、課内の連絡調整及び執行管理</p> <p>?庶務事務 工事委託課在籍職員の出退勤、休暇申請等の管理・報告、会計年度任用職員の報酬関係の報告等</p> <p>?要望対応事務 道路補修及び公園に関する市民等の要望等の対応</p>				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)			アウトプット (活動結果)			インプット (活動)			
指標設定	指標説明										
	指標種類										
	指標数値	目標 (見込み)									
		実績									
	達成度										

3. 人員体制

(人)

	R4実績
正職員	0.50
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	-	0	3,906		
	会計年度任用職員	-	0	0		
	特別職非常勤	-	0	0		
	附属機関委員	-	0	0		
	人件費計	-	0	3,906		
	物件費計	-	202	0	30	0.0%
	歳出計	-	0	3,906		
歳入	国庫支出金	-	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	-	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	-	0	0	0	
	市債	-	0	0	0	
	その他	-	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	-	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	-	0	0	30	

5. 総括的分析

総括的分析	<p>予算・決算、各種照会・回答など室内の連絡調整及び執行管理、課在籍職員の出退勤、休暇申請等の管理・報告などの庶務事務全般と、工事委託課特有の事務である道路補修及び公園補修に関する市民等の通報・要望等に対応を要する業務となっている。</p> <p>通報・要望等については、災害情報システムを活用して補修内容に応じた伝票を作成しているが、実態として現場対応は紙ベースが主流なため、電子化や効率化のためのさらなるICTの利活用について研究が必要である。</p>
-------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	工事委託課の事務事業について、みち・みどり室内の3課で連携を図りながら、円滑で効率的な運営を進めていく。